

も大なり。

## 二 駱駝の効用

駱駝は其の効用甚だ大なるが故に、支那人は之を沙漠の舟楫と稱するもの、信に然りとす。風多く水草乏しき沙漠の地、唯、駱駝のみ最も能く運輸の用に堪ゆ。支那の西北境即ち蒙古、新疆、青海、甘肅等の地は、隨處に産出し、其の最良なるを、張家口及び歸化城附近一帶の産とし、恰克圖、土謝圖之に次ぎ、新疆、青海、甘肅の産又之に次ぐ。

生存期

駱駝は骨格大にして、駝峰（背上に通常は双峯あり）高きものを最良とす。生命は大抵二十歳より三十歳迄を普通とするも、牝駝は二十六七歳、牡馬は二十二三歳、驢牝は約三十歳を保ち、能く馱載し得べき強盛期は、五歳より二十歳迄とす。

妊娠期

駱駝牝牡、共に六七歳より交尾し、交尾期は六七月とす。牝駝一頭に牝駝二三十頭を交配し、妊娠期は十三箇月なるが故に、兒は三年に二頭を生産する割合なり。妊娠中と雖も、其の使用に差支なく、唯、産後數日の休養を要するのみ。

馱載量

馱載量は、體格の良否と、老壯とに、因りて一定せざるも、良駝は三百二十斤、中等の